

ぶんぐいとうげ
分杭峠

古来文化移入の交通路

伊那市と下伊那郡大鹿村との境界に位置する標高1,424mの峠。静岡県浜松市の秋葉神社へ向かう街道として古くから利用された秋葉街道の峠の一つであり、重要な交通路であった。秋葉街道は、西日本の地質を内帯と外帯に二分する中央構造線の断層谷を利用した街道であり、分杭峠は中央構造線の谷中分水界にあたる。



谷筋を秋葉街道が通る



江戸時代は高遠領と天領の境界
現在は上・下伊那の郡界
初代の石柱は盗難にあり、その後現在の石柱が建てられた



静かな山峡を抜ける国道はかつては「信仰の道・秋葉街道」だった

information

- アクセス
駒ヶ根ICから20Km
車→40分
- 所在地
伊那市長谷市野瀬、
大鹿村鹿塩



(国土地理院の数値地図50000(地図画像)を使用)

! ? 名の由来

江戸時代、高遠藩が領内を明確にするため峠上に「従是北(これよりきた)高遠領」と刻んだ石柱を建てた。これが当時の鹿塩村(幕府領)と市野瀬村(高遠領)を分ける分杭となった。明治の頃、陸地測量部の1/50,000地形図作成の際に「分杭峠」と明記され、名前が定着した。

! ? ゼロ磁場

有名な気功師によって世界有数の「ゼロ磁場」が発見された。科学的な判断はともかく、磁場に多くの人が癒しを求めて訪れる。